



学校だより

登校わくわく 学校いきいき 下校にここに

千葉市立千草台東小学校

No.3 (6月号)

令和7年6月16日



1・2年生

万緑の中、笑顔あふれた「東の子」

校長 角田 淳志

プール脇のアジサイも咲き始め、お日様が顔をのぞかせる時間も少なく、梅雨らしい季節がやってまいりました。そんな季節でも、千草台東小学校の子たちは明るく元気に挨拶をしてくれます。それだけで、気持ちが晴れ晴れとします。

さて、5月24日(土)には「笑顔と緑の大運動会」を実施しました。事前の天気予報では、雨も心配されていましたが、暑すぎることもない爽やかな運動会日和となり、予定通り行うことができました。ご来賓の皆様、大勢の保護者や地域の皆様には、朝早くから熱い声援や温かな拍手をいただき、心より感謝申し上げます。子供たちは『全力で 笑顔を絶やさず 最後まで』というスローガンを胸に、徒競走や団体種目、ダンスなどを頑張りました。1・2年生の表現「東っ子ブラザーズ」では、カラフルなバンダナと手袋を身に付け、笑顔いっぱい元気よく踊っていた姿がすてきでした。「シェー！」のポーズ（通じますかね?）がかわいらしかったです。3・4年生の表現「ダンスは私たち、ぼくたちに任せて!!」



3・4年生



5・6年生

では、中学年らしい、きびきびとした動きで、統一されたフラッグの動きがきれいでした。両手に持った色違いのフラッグを様々な動かし方をしていて見事でした。5・6年生の表現「伝統をつなぐ舞～南中ソーラン～(民舞)」では、力強い統率された動きに、さすが高学年の演技だなと感じました。ひらめく法被の動きや額にきらめく汗に踊りのハードさや踊りに対する子供たちの真剣さがひしひしと伝わってきました。

応援合戦も力強い応援団のかけ声を中心に、白組も紅組も一体となって合戦を繰り広げ、全校の声が空に響き渡っていました。競技・演技だけでなく、前日準備や当日の運営にと、先頭に立って活動していた6年生の子供たちは、ひと際大きく力強く輝いて見えました。全校の子供たち一人一人が一生懸命に取り組む姿に感動した一日でした。競技終了後には、どの子の表情にも、達成感と安堵の笑顔を見ることができました。これもひとえに、保護者の皆様の支えがあったからこそです。重ねて感謝申し上げます。ありがとうございました。運動会という行事を通して、気持ちを一つにして頑張った「東の子」はもとより、それを陰で支え、子供たちの発達の段階を考慮し、その良さを十分に発揮させようと、準備や演技の指導を行った教職員についても誇りに思います。

さて、1年間の大きな節目となる行事を終え、学校は夏休みに向けた前期後半へと向かっていきます。これからは、学習活動や諸活動のさらなる充実を目指してまいります。梅雨時期ですので、子供たちの健康管理にはより一層注意を払いながら、指導にあたっていきます。今後も、東の子たちのために、ご支援ご協力をお願いいたします。



「ひとにやさしく」 自分にも、お友達にも、優しくしましょう。



「が ん ば る」 めあてをもって頑張しましょう。



「しっかり挨拶」 しっかりと、千草台東小学校の自慢の挨拶をしましょう。